

旭市総合戦略評価委員会

議事録【要約】

開催日時：平成29年10月6日（金）10：00～12：06

開催場所：旭市役所本庁舎3階委員会室

○ 出席者

《委員》

飯島 隆太 委員	出	石上 弥耶 委員	出	石毛 みさと 委員	出
石見 千賀子 委員	出	向後 嗣一 委員	欠	小関 友紀子 委員	欠
椎名 正剛 委員	出	嶋田 明範 委員	出	城之内 和義 委員	出
田邊 波津枝 委員	出	林 英光 委員	出	小田垣 英文 委員	出

《事務局》

旭市：（企画政策課）阿曾課長・柴副課長・林副主幹・菅主査
・醍醐副主査・唐川主事

○ 資料

- 資料1-1 重点施策マネジメントシート「地産振興プロジェクト」
- 資料1-2 重点施策マネジメントシート「子宝育成プロジェクト」
- 資料1-3 重点施策マネジメントシート「故郷創出プロジェクト」
- 資料1-4 重点施策マネジメントシート「安心形成プロジェクト」
- 資料1-5 重点施策マネジメントシート「旭市生涯活躍のまち構想」
- 資料2 地方創生加速化交付金評価シート
- 資料3 基本施策評価シート

○ 会議内容（要約）

1 開会	
事務局	出席に対してのお礼、委員の出欠席等。
事務局	課長挨拶及び事務局紹介。
副委員長の選出について	
事務局	副委員長である諸持委員が、8月19日付けで教育長に就任され副委員長に欠員が生じたため、要綱に基づく副委員長の選出について、事務局案の提示を行う。 (委員異議なし) 事務局案として、副委員長に田邊委員を推薦したい。 (委員異議なし)
林委員長	委員長挨拶。
2 説明及び評価	
林委員長	事務局からの説明を求める。
事務局	評価の前に会議の主旨について説明を行う。また、今回の会議については、今年KPIを設定した旭市定住自立圏共生ビジョンの評価についても併せて評価いただきたい旨説明。 評価の主旨は、効果・検証を行いPDCAサイクルを確立するためであり、会議の意見をマネジメントシートに記載し、ホームページで公表したい。 シートの意見記入欄には、会議での意見を整理して事務局で記入させてもらいたい。
林委員長	事務局一任についての確認をしたい。 (異議なし)
事務局	重点施策マネジメントシートの構成について説明。 資料1-1に沿って地産振興プロジェクトの重点施策マネジメントシートを説明。
林委員長	質疑・意見を求む。

委員	道の駅への駅からのアクセスの悪さがあるが、コミュニティバスや高速バスが未だに道の駅に停まらないが、それを、まず第一にやっていくべきでは。道の駅の目標値を達成しているということであるが、目標値を上げてみても良いのでは。
事務局	コミュニティバスを含めた公共交通の形成計画を策定している最中であり、道の駅、新庁舎等も停留所として想定して検討している。目標値については、本年度中に各課と調整し、必要に応じて見直しの予定である。
委員	旅行会社とタイアップしてPRしてみてもは。口コミで広がるのでは。
事務局	商工観光課ではとバスと提携している。また、県と連携して東京発で横芝、旭、銚子をまわって帰るモニターツアーを組んでもらった。
委員	そういったことはどこでわかるのか。
事務局	県のホームページで募集をかけている。はとバスはメロンの収穫季にあわせて募集するが、はとバスのホームページを見るとわかる。
委員	クラブツーリズムの雑誌には載っているが、中々その中で選んでもらえない。月に2回位は道の駅に寄ってもらっている。集まってもらうには、道の駅以外の魅力も必要。
林委員長	徐々に総合的に検討していけばかなり効果はあると思う。その辺を含めて検討を。
委員	旭は農業生産額が全国6位であり、東京オリンピックに向けて納める食材等、市がまとめて働きかけをやってもらえれば。
事務局	現在オリンピック事前キャンプ地誘致委員会を設置している。食

	材の担当は農水産課となると思うので、担当課に伝える。
委員長	畜産のにおいては、オリンピックに向けて取組んでいかないといけない。このプロジェクトはまだまだ伸びしろがある。
事務局	資料1-2に沿って子宝育成プロジェクトの重点施策マネジメントシートを説明。
林委員長	質疑・意見を求む。
委員	児童手当で上の子が18歳を超えると第3子でも、第3子とカウントされない。子どもが大きくなってからの方がお金がかかる。スウェーデンは出生率がこの間まで日本と同じ位であったのが、今は上がっており、父親も育児休暇がとれる。父親も含めて育児休暇がとりやすくなるような雰囲気づくりが必要。育児休暇をとると現在は給料の40%位しかもらえないが、70%もらえるようにする等出来れば育児休暇もとりやすくなるのでは。
事務局	旭市は保育所は多く待機児童はいない。また15の小学校で学童保育を実施している。育児休暇の雰囲気作りが必要。またUターンについて、故郷について愛情を育む教育が必要である。
委員	個人事業主の従業員が育児休暇をとれるように、個人事業主に補助等出来たら。
事務局	資料1-3に沿って故郷創出プロジェクトの重点施策マネジメントシートを説明。
林委員長	質疑・意見を求む。
委員	移住定住の件について、都内からの移住定住がターゲットになると思うがどのように行っているか。
事務局	都内に移住定住関連の組織が3つある。移住・交流情報ガーデン、ふるさと回帰支援センター、生涯活躍のまち移住促進センターの

	3つがある。それと日本橋でもふるさと納税のパンフレット等置いてある。
委員	市外に向けて何かやっているか。効果は。
事務局	移住の申請に来たときにアンケート調査を実施している。都内でイベントをやると電話がかかってくることもある。
委員	幽学の里の米作りで、移住定住に関してアピールしているか。
事務局	今のところしていない。
委員	せっかく興味持ってきてくれているので、PRしてみてもどうか。
委員長	米作りについては、生態系とか含めて総合的にやっているか。
事務局	田植、草刈と虫の調査、稲刈り、収穫祭と4回やっている。団体が固定化してきているところもあり、新しい団体が入って来ないと言う問題もある。
委員長	旭も景色がいいところがある。スポーツ交流とか丁寧にやっていたら。
事務局	しおさいマラソンでは、全国から来るので参加賞を送っている。パークゴルフ等の大会もあるので連携して行けたら。
委員	旭にはいいところがあるとのことだが、肝心の市民が良さを理解していない。まず市民に意識をもってもらうのが大事。
事務局	過去にバスをどう呼び込むかを研究したことがある。添乗員からみてよいところは龍福寺。
委員	オークラホテルで会議があり、そこで旭市の紹介の良くてきているパンフレットがあった。

事務局	昨年、商工観光課で作ったもの。
委員	昨年末に、ユネスコで協同組合が世界無形文化遺産に認定されたということで、大原幽学が世界初の農業共同組合を作ったということで、世界的に誇れるPRが出来るのでは。
事務局	子どもの頃から旭を勉強して、後で戻ってきてもらえるようにすることが大事。今回の意見を各課にフィードバックし、担当課の意見を記載しホームページに公表する。
事務局	(商工観光課作成まっふるを委員に配付)
林委員長	これを各家においても良いのでは。
事務局	改訂版出した時には、市民にPRしても良いのでは。
委員	それに割引券等をつけることは出来ないか。主婦層目線からクッキープレゼント等の券等。
事務局	公共施設であれば、出来ることもあるので検討してみる。
委員	大原幽学記念館は桜や椿が綺麗である。桜や椿の種類がわかる看板があったらよいのでは。
事務局	椿は200種類超えるのはわかっているが、管理は出来ていない。
委員長	椿は旭が元祖ではないですか。椿は日本人が大事にしてきた。
事務局	資料1-4に沿って安心形成プロジェクトの重点施策マネジメントシートを説明。
林委員長	質疑・意見を求む。
林委員長	老人クラブで旭に場がないので成田や銚子に行っている。旭は場

	所と指導者がいない。もう一歩進んだ形での対策が必要。
委員	防災訓練について、参加者も減っており、いつも同じ参加者等訓練が有効にされていないのでは。学校と家庭を強力につなげて良いのでは。
事務局	津波訓練と総合防災訓練とは別で、今の話は総合防災訓練。津波避難訓練はいろいろなやり方がある。山側では土砂災害に即した訓練等いろいろなやり方がある。
委員	今までの訓練では、自宅から学校までの引渡し訓練であったのが今回は恵天堂まで実際に避難し、近くの球場に迎えに行く。初めての試みで道路がどうなるか心配である。
事務局	それは学校の方で実際に即してやる訓練だと思う。
委員	自主防災組織について市の方で働きかけは。
事務局	干潟で立ち上げたいとの話しがあり、総務課で相談に乗っているとの話は聞いたことがあります。
委員	地域ごとに呼びかけることは出来ないか。
委員	老人クラブや女性にも、地域ごとに参加を集っていく働きかけをやっていったらよいと思う。
事務局	担当課に伝える。
事務局	資料 1 - 5 に沿って旭市生涯活躍のまち構想の重点施策マネジメントシートを説明。
林委員長	質疑・意見を求む。
委員	旭市にとって重要な構想であるが、旭の特徴を出すことが重要。農業は全国でも 6 位の生産額であるが、農業も食べたり加工する

	<p>だけでなく、植物の抽出物で医療品や化粧品に使えたり、色々な可能性があるため、コラボレーションすることにより、他にはない市の構想が出来るのでは。</p>
委員長	<p>農業についても可能性はたくさんあると思う。新たなことについて可能性を考えていく必要がある。</p>
事務局	<p>生涯活躍のまちについては、ごちゃまぜをテーマにしている。必要な時に医療と介護が受けられ、また農業は切っても切れないと考えている。ヘルスケア産業以外の企業に来ていただいて、雇用の場を創出し、市全体に波及していくような相乗効果が生まれればよいと思っている。どういった機能を入れれば良いのか、検討して構想を立てている段階であるため、参考としたい。</p>
委員	<p>中央病院の日帰りの人間ドックが非常に人気がある。旭市も医療費が多くかかっている中、早期発見早期治療が重要であるため1日当りの人間ドックの定員を増やしてもらえよう、市で働きかけてもらったり、市民が優先的にかけられるような方向になればよいと思う。</p>
林委員長	<p>資料2について事務局の説明求む。</p>
事務局	<p>資料2 地方創生加速化交付金の効果検証について説明。</p>
委員	<p>道の駅に来たお客様が3名ほど利用した。あまりにも知らなさ過ぎる。成田からのアクセス面で取り残されている。そこを解決するために、こういったことをどんどんやっていく必要がある。旭全体のPRを含めてアクセスを最重点で考えて進めていただきたい。</p>
事務局	<p>広報、ホームページで周知はしているが、情報が多い中で、見たい情報を見て閲覧しているため、他の情報が入らないこともある。今後シティセールスのホームページを作成中であり、そういったところに載せることも考えて行きたい。</p>

林委員長	意見等なければ次へいくこととしてよいか。 (意見なし)
林委員長	事務局から資料3について説明求む。
事務局	資料3 基本施策については、時間の都合上割愛させていただく。 基本施策の評価については、まち・ひと・しごと創生法での評価対象となっていないため、了承いただきたい。 用紙をお配りするので、後ほどご覧いただき、ご意見等あれば、事務局までお願いしたい。
3 その他	
林委員長	<p>その他として、何かあればどうぞ。 (特になし)</p> <p>それでは、これにて会議を終了します。</p> <p style="text-align: center;">【閉会 午前12時06分】</p>